

# おかあさん・おとうさんへ

今年の夏休みの企画は、昨年まで11年続いてきた「智頭自然教室」に代わる「鳥取自然教室」と、これまでの「生水の郷自然教室」「祝島自然教室」「四万十自然教室」となりました。「鳥取自然教室」のフィールドの確定に手間取り、さらに日程も二転三転したため募集要項の完成が遅れまして申し訳ございません。

同封しました申込用紙（兼健康調査票）に必要な事項をもれなく御記入のうえ事務所までお送りください。受け付けましたら、集合・解散の場所と時間、持ち物や参加費用の振り込みについてのご案内をお送りします。また、複数の企画に参加することも可とします。なお、参加費には保険代などに充てる登録料（2,000円）が含まれています。年間の月例会会員の方にはすでに支払っていただいていますので、登録料を省いた金額となります。月例会員外の方で二企画に参加される場合は登録料は一回のみとなります。（冬・春も有効）

ところで、今年の日程はこれまでとはかなり違っています。大学の前期試験が7月末～8月始めに移行したため、ここ数年は7月末の土・日をはさんで“生水”を行い、8月のお盆までに“智頭”を二期間、盆明けに“祝島”と“四万十”というパターンでしたが、今年、祝島では4年に一度のお祭り「神舞」が行われます。これまで「神舞」の年は“生水”と入れ替えて7月中に行うか、「神舞」が終わる8月20日～24日としていました。7月にするにはリーダーが不足、また、大阪では8月25日から二学期が始まってしまうので、日程を後ろにずらすこともできません。祝島の方とも相談して“祝島”の日程を8月6日～10日とし、それに“四万十”の日程を重ねました。それに伴い、新たに行う“鳥取”の日程を第一期：8月14日～18日・第二期：8月18日～22日、それぞれ二班編制で行います。

## “鳥取自然教室”につきました

初めての“鳥取”も、六月例会では一期間（8月15日～19日）：三班編成とお伝えしましたが、結局、二期間：二班編制に落ち着きました。どちらかの期に集中することなくバランスよく実施できたかと思っています。どちらの期でも参加できる方は申込用紙にその旨ご記入ください。どちらに参加していただくかの確定は受付状況を見ながら7月2日までにご返事します。宿泊は小規模な民宿許可を取った民家の部屋をシェアして自炊します。いちおう一班10名としていますが、人数を少なくするかもしれません。智頭と比べて少し時間がかかるので、集合時間は早めて新大阪駅に午前8時00分、解散：午後6時00分頃となりました。

## “祝島自然教室”につきました

今年で27年目となる“祝島”、昨年は募集要項を発送後一週間で定員に達しました。貸切バスから新幹線に代えたこともあり、定員を増やして21名まで受け付けてストップしました。さらに、今年が一番参加しやすい日程となっていることもあり、受け付けに優先順位をつけることにしました。

小学六年の初めての方と二回目の方、小学五年の初めての方、小学四年は“智頭”と“生水”に参加したことがある方を優先します。ただし、優先は27日までとします。その後は優先をはずしての受け付けとなります。ただ、中学生優先の“四万十”を外れた小学六年がこちらに回ることもありますので、“祝島”の受け付けは多少ややこしくなり、連絡が遅れるかもしれませんがご了承ください。

“祝島”は昨年から新幹線を利用しています。集合はJR新大阪駅に午前7時45分、解散は同じ新大阪駅に午後6時30分頃の予定です。

## “生水の郷自然教室”につきました

NHKなどで度々紹介されている「生水の郷：滋賀県高島市新旭町針江集落」において、10年目の今年も地元の「生水の郷委員会」の方々に協力していただいて企画の充実を図り、琵琶湖に仕掛けた定置網：エリやモンドリを引き上げたり、昨年からは耕作を始めた畑も本格的に活用していきます。集合はJR新大阪駅に午前8時15分、解散は午後5時30分頃の予定です。往復はJR湖西線：新快速となります。

## しまんと “四万十自然教室”につつまして

“四万十”は打合せ会(子ども会議)を行います。その日か、別に設定する予備日に必ず参加してください。「子ども会議」から企画はスタートしますので、会議への参加は遠方の方以外は絶対条件です。“四万十”は中学生のステップアップの企画として位置づけ、春の“ぶらり旅”などにつなげていくための企画です。リーダーの数も少なく、自分たちの力でやっていってもらいます。去年は北海道へのリーダー研修に中学生も参加できましたが、今年は中学生対象の企画は“四万十”のみとなるので中学生優先とします。

例年、小六の参加は中学生の申込状況を見ながら受け付けていますが、今年は中学生の会員が三・四年前の倍近くになっていますので、今年はあまり余裕がないかもしれません。中学生は部活の日程が確定しないので申し込みがどうしても遅くなりますが、行きたいと思っている方は7月2日までに「行きたいと思っているが、日程の調整中」と連絡ください。

往復ともに高知県須崎までのJRバスを利用し、帰りは夜行バスとなります。集合はJR大阪駅に午前7時、解散は事務所まで後片づけをしてから午前10時頃の予定です。

## アトピーにつつまして

アトピーの子どもたちが増えてますが、申込用紙の「アレルギーがありますか」の欄に内容と対処について詳しくお書きください。特に除去する食材がある方は必ず連絡下さい。『四万十』の食事は細かい配慮はできそうにありません。“鳥取”・“祝島”・“生水の郷”ではベテランのリーダーが食事を作るので、少しでも対応できるように検討しています。しかし、完全な代用食・除去食はできませんし、その程度や内容により、“鳥取”ではリーダーの配置によっては参加していただく日程を指定する場合があります。いずれにしても、事前に相談しながらすすめていきたいと思えます。

夏企画の問い合わせは、西村(090-1149-4326)までご連絡ください。

## 「智頭町那岐地区」に代わる活動地は「鳥取市河原町西郷地区」に決定!

31年間続いた兵庫県美方町(現香美町小代区)、その後11年間続いた鳥取県智頭町那岐地区に続く、3カ所目となります。「智頭」を選択するにあたっては、平成の合併をせず地域活性化の活動が盛んであること、年間を通じての「農業プロジェクト:農作物を作って加工する」のに通いやすいことを優先優先しており、フィールドとしてはもう一つもの足らないところもありました。

智頭を撤収することを機会に、農業プロジェクトは、他の団体とも取り組んでいる「生水の郷」に集約することにしました。その分、フィールドの良さを追求めました。伝手のある鳥取県大山町や冬の企画を昨年から始めた福井県南越前町なども検討しました。しかし、低学年を対象とする企画であるから、やはりバスでの移動が3時間~3時間半におさまり、夏・冬・春と季節のはっきりとしたフィールド:具体的には冬には雪が期待できて、夏には飛び込みなどができる淵や岩すべりのできる変化に富んだ川がある:を条件に探しました。

結局、通い慣れた鳥取道河原インターを降りて、西側の谷を入った鳥取市河原町西郷地区に決まりました。曳田川は智頭町那岐地区を流れる土師川ほどの水量はありませんが、少し勾配があつて集落の近くに飛び込みのできる淵がいくつもあり、地域の方々が子どもたちが安心して遊べるように整備し、毎年草刈りをして管理されています。また、智頭より北に位置し、日本海の湿った風が最初に山にあたる地域なので、智頭以上に雪遊びも期待できそうで、高学年も楽しめる大阪自然教室として求める理想的なフィールドです。

また、西郷地区では地域の方の自発的取り組みとして「いなば西郷むらづくり協議会」が立ち上げられ、活発に活動されています。今回は、西郷地区の中の弓河内集落ゆみごうちの二軒の民宿、といっても本格的な稼働はこれからの家で、その部屋をシェアしての宿泊です。これをステップに、今後弓河内集落をはじめとする西郷地区の方々とも相談して、企画の充実を図っていきたいと思っています。